

高松大学 子ども研究所

高松大学発達科学部
高松短期大学保育学科



研究・研修 情報提供、相談などの 支援をします

高松大学は、新たに附属研究施設「高松大学子ども研究所」を平成21年10月1日に開設しました。

今日、核家族化、少子化、経済の悪化、環境問題等が進み、教育環境が激変する中、育児放棄、虐待、いじめ、不登校、体力低下、学力低下など、子どもを取り巻くさまざまな問題が複雑に絡み合っており、その課題解決が迫られています。本研究所は、高松大学発達科学部・高松短期大学保育学科の専門的な機能を生かし、専任教員がスタッフとなり、そのような子どもに関する諸問題の研究はもちろん、子育て情報の提供、子育てや発達の相談、教育・保育に携わる方々の研修など、子育て全般に関する支援を行い、地域社会への貢献を目指します。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

所長 佐竹勝利
(高松大学発達科学部長)

研究所開設の経緯

本研究所のルーツは50数年前(昭和31年)に設置された幼児研究所です。幼児研究所は、高松幼稚園の創設者達が幼児研究への熱い思いで設けたもので、今日まで半世紀の歴史を刻んでいます。その後、学校法人高松学園(後の四国高松学園)が認可され、高松東幼稚園を開園し、そして母なる女性の教育が必要であるとの認識から、昭和44年、高松短期大学児童教育学科(現保育学科)を開学したのです。平成8年には高松大学(経営学部)を開学し、平成18年には発達科学部を開設しました。そして、かつての幼児研究所のように関係者の熱い思いから、この子ども研究所を立ち上げました。

活動内容

子どもの成長・発達および教育・保育に関する理論と方法の研究

- 研究所として課題を設定し研究を行います。
- 子どもの成長・発達、教育・保育理論、教育実践についての研究を収集します。
- 学内の研究者はもちろん、学外の研究者の協力も得て研究を行います。

子どもに関する地域社会への情報提供と関係機関との連携

- 関係機関から子どもに関する地域の諸情報の収集を行います。
- 子どもに関する諸情報を関係機関に提供します。

子どもに関する研究会、講演会およびワークショップ等の開催

- 子どもに関する研究会を催します。
- 子どもに関する講演会を催します。
- 子どもに関するワークショップなど、研修会を催します。

子育て相談および支援

- 研究所員や本学の専門の教員が相談・支援を行います。

子ども研究所の目的を達成するために必要なこと

- 研修会場として大学の講義室や演習室を貸し出します。
- 子どもに関する教育機関・施設や催しに対して学生ボランティアを派遣します。

スタッフ

所長（佐竹勝利） 所員（植田宗士、中塚勝俊、田中弓子）
他に高松大学発達科学部、高松短期大学保育学科の専任教員が協力します。

受付時間 月～金曜日（木曜を除く）
10:00～16:00



お問い合わせ先

高松大学子ども研究所

〒761-0194 香川県高松市春日町960

TEL **087-841-3216**（生涯学習教育センター内）

FAX **087-841-3023**

URL <http://www.takamatsu-u.ac.jp/child/>